

平成25年度 関東東海北陸農業試験研究推進会議  
作業技術部会 現地研究会 開催要領

関東東海北陸農業試験研究推進会議  
作業技術部会 部会長 細川 寿

1. 趣旨

地域農業の競争力強化を進めるには、稲麦大豆の土地利用型作物に加えて、野菜の取り組みが重要なポイントである。野菜栽培における作付面積の規模拡大には、機械化体系が重要な課題である。

一方、ネギの生産量は、千葉県、埼玉県、茨城県で全国の1/3以上を占め、人口当たりの生産量は茨城県、群馬県や千葉県が上位を占めている。

そこで、群馬県で取り組みが多いネギを対象として、「地域特産露地野菜（ネギ等）の現状と課題－作業技術面からの取り組み」のテーマで、関連する現地事例と話題提供を通じ、生産者との意見交換を行い今後の機械化の要望等の情報収集を行うとともに、生産現場の課題解決に向けた今後の推進方策を検討し研究の連携を進める。

2. 開催日時

平成25年11月28日（木）12時00分～29日（金）12時00分  
（11/29終了後 関東東海北陸農業試験研究推進会議作業技術部会を開催）

3. 開催場所

- 1) 1日目 現地検討（群馬県太田市および群馬県農業技術センター）
- 2) 2日目 室内検討（ホテルメトロポリタン高崎 会議室 高崎駅上）

4. 検討内容

テーマ 「地域特産露地野菜（ネギ等）の現状と課題－作業技術面からの取り組み」

1) 現地検討

- (1) ネギ共同選別調整施設を核とした産地化 J A太田市ネギ共同選別調整施設および現地圃場
- (2) 地域特産作物の機械化技術 群馬県農業技術センター

2) 室内検討（タイトルは調整中）

- (1) 群馬県における露地野菜生産の現状と課題 群馬県農政部技術支援課普及指導室 阿久澤邦夫
- (2) 地域特産野菜の機械化作業体系に対応した取り組み 群馬県農業技術センター 原 昌生
- (3) 露地野菜を中心とする企業の経営の現状と今後期待したい機械化技術 (有)フジウ21 藤生史郎
- (4) ネギ移植機の現状と課題、マルチステージネギ移植機の開発状況 中央農研 屋代幹雄
- (5) ネギ調製機・収穫機の現状と開発・普及状況 生研センター 貝沼秀夫
- (6) 総合検討、意見交換（担い手生産者を交えた意見交換）

3) その他

5. 参集範囲

関東東海北陸地域公立試験研究機関・行政普及部局、農水省農林水産技術会議・生産局、関東農政局、東海農政局、北陸農政局、生産者、農研機構の関係者、その他部会長が認める者

6. 連絡先

〒305-8666 茨城県つくば市観音台3-1-1  
中央農業総合研究センター 作業技術研究領域 長坂 善禎  
Tel : 029-838-8815 Fax : 029-838-8538 E-mail : zentei@affrc.go.jp  
参加申し込み、資料提出等については、別途連絡する。

【現地事務局】

〒379-2224 群馬県伊勢崎市西小保方町493  
群馬県農業技術センター 企画部 機械施設係 原 昌生  
Tel : 0270-62-1021 Fax : 0270-63-3609 E-mail : hara-ma@pref.gunma.lg.jp